

令和3年度

【令和2年度事業】

大和高田市の教育に関する  
事務の管理及び執行の点検評価報告書

令和3年9月

大和高田市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、令和3年度（令和2年度事業）大和高田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の結果を報告いたします。

令和3年9月3日

大和高田市教育委員会  
教育長 梶木 義敏

○地方教育行政の組織及び管理運営に関する法律[抜粋]

(平成20年4月1日施行)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# 目 次

|   |                       |    |
|---|-----------------------|----|
| 1 | 教育委員会の活動状況            |    |
|   | (1) 教育委員会会議の開催状況      | 1  |
|   | (2) 教育委員会会議以外の活動状況    | 4  |
| 2 | 教育予算の執行に関する状況         | 5  |
| 3 | 主要な事業の点検・評価           |    |
|   | (1) 1次評価の概要           | 5  |
|   | (2) 2次評価の概要           | 6  |
| 4 | 有識者の意見                |    |
|   | ◎有識者の意見の聴取及び概要        | 6  |
| 5 | 総括                    | 7  |
| 6 | 【別表1】大和高田市まちづくりの指針の体系 | 8  |
| 7 | 【別表2】事業の評価一覧          | 9  |
| 8 | 事業の概要と点検・評価           | 11 |

# 点検評価の概要

大和高田市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検・評価を実施しております。

令和2年度についても、教育委員会の活動の状況、教育予算の執行に関する状況、主要な事業の執行に関する状況について、点検・評価を実施し、外部有識者にご意見をいただき報告書にまとめました。

## 1 教育委員会の活動状況

### (1) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会は、毎月1回の定例委員会と必要の都度臨時委員会を開催し、教育長及び4名の教育委員により、教育行政に関する諸施策について審議を行った。定例、臨時委員会における付議案件の件数及び内容については、次のとおりである。

| 開催日          | 定例／臨時 | 案 件  |
|--------------|-------|--|
| 4月6日<br>(月)  | 臨時    | ・人事について<br>・新型コロナウイルス感染症拡大予防措置について<br>他、報告事項1件                                     |
| 4月14日<br>(火) | 定例    | ・新型コロナウイルス感染症拡大予防措置について<br>他、後援願1件、報告事項4件  |
| 4月27日<br>(月) | 臨時    | ・臨時休業期間の延長について<br>・令和2年度大和高田市立中学校給食調理業務委託プロポーザル選定委員会設置要綱を制定する告示（案）について<br>他、報告事項2件 |
| 5月22日<br>(金) | 定例    | ・令和2年度大和高田市青少年補導会 感謝状授与について<br>・令和2年度大和高田スカウト運動育成協会感謝状授与について<br>他、後援願1件、報告事項2件     |

|               |     |  |
|---------------|-----|--|
| 6月25日<br>(木)  | 定 例 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大和高田市就学援助費事務取扱要綱の一部を改正する告示について</li> <li>・大和高田市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則（案）について</li> </ul> <p>他、後援願 4 件、報告事項 4 件</p>   |
| 7月30日<br>(木)  | 定 例 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大和高田市指定文化財の新規指定について</li> <li>・令和 2 年度大和高田市児童ホーム事業運営業務委託プロポーザル選定委員会設置要綱（案）について</li> <li>・スポーツ及び文化に関する事務の移管について</li> <li>・教育委員会情報化検討チーム設立について</li> </ul> <p>・報告事項 5 件</p>              |
| 8月17日<br>(月)  | 臨 時 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 3 年度以降使用中学校用教科用図書採択について</li> </ul>  |
| 8月27日<br>(木)  | 定 例 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・I T 研究会発足について</li> </ul> <p>他、後援願 4 件、報告事項 5 件</p>   |
| 9月24日<br>(木)  | 定 例 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大和高田市教育委員会後援等に係る事務取扱要綱の制定（案）及び大和高田市教育委員会事務委任規則の一部を改正する規則（案）について</li> <li>・I C T 研究会の進捗状況について</li> <li>・人事案件について</li> <li>・教育に関する事務の管理及び点検評価について</li> </ul> <p>他、後援願 1 件、報告事項 4 件</p> |
| 10月22日<br>(木) | 定 例 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和 2 年度教育委員会表彰被表彰者について</li> <li>・大和高田市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則（案）について</li> <li>・I C T 研究会の進捗状況について</li> </ul> <p>他、後援願 1 件、報告事項 4 件</p>  |

|               |    |  |
|---------------|----|--|
| 11月25日<br>(水) | 定例 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・機構改革に伴う大和高田市教育委員会に対する事務委任規則の改正について</li> <li>・児童ホーム設置条例の一部を改正する等の条例についての地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定による意見の申出について</li> <li>・大和高田市学校給食費徴収条例施行規則の一部を改正する規則及び大和高田市給食支援金交付要綱の制定について</li> <li>・令和2年度大和高田市特定教育・保育施設等給食費補助金要綱の制定について</li> <li>・ICT研究会の進捗状況について</li> </ul> <p>他、後援願2件、報告事項3件</p> |
| 12月17日<br>(木) | 定例 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT研究会の進捗状況について</li> </ul> <p>他、後援願5件、報告事項3件</p>   |
| 1月14日<br>(木)  | 定例 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT研究会の進捗状況について</li> <li>・人事案件</li> </ul> <p>他、後援願4件、報告事項3件</p>  |
| 2月18日<br>(木)  | 定例 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT研究会の進捗状況について</li> <li>・成年年齢引き下げにともなう成人祝賀式の対象年齢について</li> </ul> <p>・後援願3件、報告事項3件</p>  |
| 2月18日<br>(木)  | 臨時 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員の辞職願について</li> </ul>  |
| 3月10日<br>(水)  | 臨時 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育職員人事について</li> </ul>  |
| 3月23日<br>(火)  | 臨時 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市職員人事について</li> </ul>   |
| 3月26日<br>(金)  | 定例 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT研究会の進捗状況について</li> <li>・条例・規則・要綱等の制定・改廃について</li> </ul> <p>他、後援願2件、報告事項6件</p>   |

(2) 教育委員会会議以外の活動状況

例年は、学校訪問や教育委員会の開催する文化行事、体育行事に出席し、教育・スポーツ・文化の振興に努めているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行事等の中止や規模の縮小、出席者の制限が設けられた。関係行事への出席状況は次のとおりである。

○ 主な行事

| 開催日       | 行事名                  |
|-----------|----------------------|
| 7月15日(水)  | 文化財保護審議会             |
| 8月25日(火)  | 社会教育委員会議             |
| 10月16日(金) | 就学指導委員会              |
| 11月3日(火)  | 選奨式                  |
| 11月6日(金)  | 教育委員会表彰式             |
| 1月10日(日)  | 成人祝賀式                |
| 1月18日(月)  | 文化財保護審議会             |
| 1月25日(月)  | 学校・地域パートナーシップ事業成果報告会 |
| 2月10日(水)  | 社会教育委員会議             |
| 2月14日(日)  | ボランティアガイドと行く文化財めぐり   |
| 2月28日(日)  | 図書館を使った調べる学習コンクール表彰式 |
| 3月1日(月)   | 高田商業高等学校卒業式          |

## 2 教育予算の執行に関する状況

令和2年度の教育費予算は、33億9,712万7千円で前年比14.4%の減であった。また、決算額は29億4,736万1千円で、前年比18.6%の減であり、減少の主な要因は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休校や行事・事業の縮小・中止の措置が取られたことにより、光熱水費や執行に係る費用が減少したこと等によるものである。

教育予算全体での予算額に対する執行率は86.8%で、概ね予定どおりの予算執行であった。

(単位：千円)

|         | 令和元年度     |           | 令和2年度     |           | 増減額      |          |
|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
|         | 予算額       | 決算額       | 予算額       | 決算額       | 予算額      | 決算額      |
| 1 教育総務費 | 478,207   | 460,537   | 562,002   | 487,500   | 83,795   | 26,963   |
| 2 小学校費  | 1,126,536 | 951,248   | 833,920   | 631,284   | -292,616 | -319,964 |
| 3 中学校費  | 775,704   | 686,695   | 322,802   | 258,105   | -452,902 | -428,590 |
| 4 高等学校費 | 399,526   | 391,772   | 413,662   | 386,916   | 14,136   | -4,856   |
| 5 幼稚園費  | 235,535   | 225,051   | 275,947   | 262,135   | 40,412   | 37,084   |
| 6 社会教育費 | 399,908   | 383,828   | 450,700   | 408,832   | 50,792   | 25,004   |
| 7 保健体育費 | 551,045   | 521,298   | 538,094   | 512,589   | -12,951  | -8,709   |
| 合計      | 3,966,461 | 3,620,429 | 3,397,127 | 2,947,361 | -569,334 | -673,068 |

## 3 主要な事業の点検・評価

「大和高田市まちづくりの指針」第2章「将来都市像と基本目標」に掲げた教育関連施策に該当する事業（【別表1】参照）より、主要な33事業を対象とし、各担当課における1次評価、部局における2次評価を行い、自己評価の精度の向上に努めるとともに、外部有識者による意見を活用し、報告書にまとめた。なお、評価及びその基準は、次のとおりである。

### (1) 1次評価の概要

各担当課において、事務事業評価シートにより、事業の妥当性、有効性、効率性の3項目について、それぞれ4段階の項目別評価（評価が高い、評価がやや高い、普通、評価がやや低い）を行い、それを基に総合的な評価として1次評価を行った。1次評価の結果、期待以上の成果が上がったと評価された事業が7事業、概ね期待どおりの成果であったと評価された事業が25事業、期待どおりの成果であるが、さらに改善の余地があると評価された事業が1事業、



課題が残り、期待どおりの成果が上がらなかったと評価された事業はなかった。

| 評価  | 基 準                      | 事業数    |
|-----|--------------------------|--------|
| A   | 期待以上の成果が上がった             | 7 事業   |
| B   | 概ね期待どおりの成果であった           | 2 5 事業 |
| C   | 期待どおりの成果であるが、さらに改善の余地がある | 1 事業   |
| D   | 課題が残り、期待どおりの成果が上がらなかった   | 0 事業   |
| 合 計 |                          | 3 3 事業 |

## (2) 2次評価の概要

各担当課による1次評価の結果を基に、教育委員会内に2次評価組織を設置し、1次評価の検証並びに2次評価を行い、修正すべき点については修正を加えた。2次評価の結果、期待以上の成果が上がったと評価された事業が7事業、概ね期待どおりの成果であったと評価された事業が24事業、期待どおりの成果であるが、さらに改善の余地があると評価された事業が2事業、課題が残り、期待どおりの成果が上がらなかったと評価された事業はなかった。

| 評価  | 基 準                      | 事業数    |
|-----|--------------------------|--------|
| A   | 期待以上の成果が上がった             | 7 事業   |
| B   | 概ね期待どおりの成果であった           | 2 4 事業 |
| C   | 期待どおりの成果であるが、さらに改善の余地がある | 2 事業   |
| D   | 課題が残り、期待どおりの成果が上がらなかった   | 0 事業   |
| 合 計 |                          | 3 3 事業 |

(各事業の評価は、別表2参照)

## 4 有識者の意見

### ◎有識者の意見の聴取及び概要

教育に関し学識経験を有する者2名を教育委員会において選任し、2次評価後の各事業について、意見をいただいた。各評価に対する意見は次のとおりである。

#### ① 幼稚園施設整備事業・小中学校施設整備事業について

- ◆限られた予算の中、各校・園の施設状況を把握しながら改善に取り組まれている。今後も子どもたちが安全に通い、安心して学校生活を送れるよう、取り組んでいただきたい。

#### ② 教育ICT環境整備事業について

- ◆一人一台端末の配備、環境整備については、大きな成果を上げていただいている。今後のICT教育の推進および機器の保守や通信環境の増大等を含む環境の整備にも継続的に注力いただきたい。

◆環境整備が進み、各校の担当者研修も盛んに行われていると思うので、さらに充実した内容の研修が行えるよう、市教育委員会から後押しをしていただきたい。

③ 人権教育の推進について

◆人権施策課と連携しながら、市教育委員会として何を大切に考えているかを教育現場に伝え、学校教育課も関わりつつ、各校・園で推進計画を策定してほしい。

④ 特別支援教育について

◆市教育委員会が特別支援教育において目指すものを各校・園のコーディネーターに明確に伝え、教育現場で推進計画を策定してほしい。

⑤ その他

◆各方面できめ細やかな事業に取り組んでいただいている。特に教育総務課・学校教育課・教育支援課においては、各課綿密に連携を取り、児童生徒を中心とする様々な事柄に取り組んでいただきたい。

## 5 総括

大和高田市教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うとともに、教育委員会が選任した2名の有識者をお願いし、ご意見・感想をうかがった。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、一部事業について、開催日の削減や開催方法の見直し等、影響があったが、これらを新たな局面と捉え、有識者よりいただいたご意見を基に、教育の現状を把握する工夫や、課題について検討をし、厳しい財政状況ではあるが、限られた予算の中でより効率的・効果的な教育行政の推進に役立てたい。

6 【別表1】

大和高田市まちづくりの指針の体系

※教育委員会の事業は、主に①～③に該当する。

| 基本目標                 | 基本施策                        | 重点施策                 |
|----------------------|-----------------------------|----------------------|
| ① 認め合い、高めあう人が輝くまちづくり | 人権を尊重する社会の実現及び平和を願う市民意識の醸成  |                      |
|                      | 生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備 |                      |
|                      | 国際交流の推進及び国際化社会への対応          |                      |
| ② 子どもたちの笑顔あふれるまちづくり  | 教育環境の充実                     | 若者世代・子育て世代が住みよいまちづくり |
|                      | 子育て支援体制の充実                  |                      |
| ③ 健康でいきいきと暮らせるまちづくり  | 医療体制の整備・健康づくり事業の推進          | 医療・保健・福祉の充実          |
|                      | 地域福祉の推進                     |                      |
| ④ 活気あふれるにぎわいのまちづくり   | 地域産業の振興                     | 産業の活性化               |
|                      | 農業の振興                       |                      |
|                      | 観光の振興                       |                      |
| ⑤ 安心して暮らせる快適なまちづくり   | 持続可能なまちづくりの推進               |                      |
|                      | 都市基盤の整備                     | 災害に強いまちづくり           |
|                      | 生活環境の整備と充実                  |                      |
|                      | 安全で災害に強いまちづくりの推進            | 災害に強いまちづくり           |
| ⑥ 自立と協働のまちづくり        | 財政基盤の確立                     |                      |
|                      | 効率的な行政運営の推進                 |                      |
|                      | 市民参画による協働のまちづくりの推進          |                      |

## 7【別表2】

### 事業の評価一覧

| 番号 | 事業名                    | 基本施策                            | 評価 | 担当課     |
|----|------------------------|---------------------------------|----|---------|
| 1  | 人権教育の推進                | 人権を尊重する社会の実現及び<br>平和を願う市民意識の醸成  | B  | 学校教育課   |
| 2  | 教育委員会表彰事業              | 生涯学習機会の充実・文化活動<br>の推進・スポーツ環境の整備 | B  | 教育総務課   |
| 3  | 社会教育関係団体育成事業           | 生涯学習機会の充実・文化活動<br>の推進・スポーツ環境の整備 | B  | 生涯学習課   |
| 4  | 葛城コミュニティセンター<br>管理運営事業 | 生涯学習機会の充実・文化活動<br>の推進・スポーツ環境の整備 | B  | 生涯学習課   |
| 5  | 図書館運営事業                | 生涯学習機会の充実・文化活動<br>の推進・スポーツ環境の整備 | B  | 生涯学習課   |
| 6  | 中央公民館定期講座運営事業          | 生涯学習機会の充実・文化活動<br>の推進・スポーツ環境の整備 | B  | 生涯学習課   |
| 7  | 中央公民館管理運営事業            | 生涯学習機会の充実・文化活動<br>の推進・スポーツ環境の整備 | B  | 生涯学習課   |
| 8  | 総合体育館管理運営事業            | 生涯学習機会の充実・文化活動<br>の推進・スポーツ環境の整備 | C  | スポーツ振興課 |
| 9  | 武道館管理運営事業              | 生涯学習機会の充実・文化活動<br>の推進・スポーツ環境の整備 | B  | スポーツ振興課 |
| 10 | 文化会館管理運営事業<br>(貸館事業)   | 生涯学習機会の充実・文化活動<br>の推進・スポーツ環境の整備 | B  | 文化振興課   |
| 11 | 文化会館管理運営事業<br>(自主事業)   | 生涯学習機会の充実・文化活動<br>の推進・スポーツ環境の整備 | B  | 文化振興課   |
| 12 | 文化財保護事業                | 生涯学習機会の充実・文化活動<br>の推進・スポーツ環境の整備 | B  | 生涯学習課   |
| 13 | 大和高田歴史文化セミナーの<br>開催    | 生涯学習機会の充実・文化活動<br>の推進・スポーツ環境の整備 | B  | 文化振興課   |
| 14 | 幼稚園備品整備事業              | 教育環境の充実                         | A  | 教育総務課   |
| 15 | 幼稚園施設整備事業              | 教育環境の充実                         | B  | 教育総務課   |
| 16 | 幼児教育の充実                | 教育環境の充実                         | B  | 学校教育課   |
| 17 | 小・中学校備品整備事業            | 教育環境の充実                         | A  | 教育総務課   |

| 番号 | 事業名                              | 基本施策       | 評価 | 担当課             |
|----|----------------------------------|------------|----|-----------------|
| 18 | 小・中学校施設整備事業                      | 教育環境の充実    | C  | 教育総務課           |
| 19 | 教育 I C T 環境整備事業                  | 教育環境の充実    | A  | 教育総務課           |
| 20 | コロナウイルス感染症対策事業<br>(トイレ洋式化及び網戸購入) | 教育環境の充実    | A  | 教育総務課           |
| 21 | 学校施設耐震化事業                        | 教育環境の充実    | B  | 教育総務課           |
| 22 | 学校給食業務                           | 教育環境の充実    | B  | 教育総務課           |
| 23 | 特別支援教育                           | 教育環境の充実    | B  | 学校教育課           |
| 24 | 外国人講師派遣事業                        | 教育環境の充実    | B  | 学校教育課           |
| 25 | 資格取得の推進                          | 教育環境の充実    | A  | 学校教育課<br>(商業高校) |
| 26 | 部活動の推進                           | 教育環境の充実    | A  | 学校教育課<br>(商業高校) |
| 27 | 人権教育の推進                          | 教育環境の充実    | B  | 学校教育課<br>(商業高校) |
| 28 | 適応指導教室(かたらい教室)                   | 教育環境の充実    | B  | 教育支援課           |
| 29 | 青少年補導員活動事業                       | 教育環境の充実    | B  | 教育支援課           |
| 30 | 青少年指導員活動事業                       | 教育環境の充実    | B  | 教育支援課           |
| 31 | 留守家庭児童ホーム運営事業                    | 子育て支援体制の充実 | B  | 学校教育課           |
| 32 | 就学援助および特別支援教育<br>就学奨励事業          | 子育て支援体制の充実 | A  | 学校教育課           |
| 33 | 若者の居場所づくり事業                      | 地域福祉の推進    | B  | 教育支援課           |

## 事業の概要と点検・評価

|      |                     |
|------|---------------------|
| 基本目標 | 認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり |
|------|---------------------|

|      |                            |
|------|----------------------------|
| 基本施策 | 人権を尊重する社会の実現及び平和を願う市民意識の醸成 |
|------|----------------------------|

人権が尊重される明るく豊かな地域社会を実現するため、一人ひとりが人権を尊重する意識を持ち、自分の人権だけでなく、他人の人権も思いやるまちづくりを進めます。また、人々が笑顔でいるためには、何よりも平和な社会が必要です。1985年(昭和60年)に採択した「非核・平和都市宣言」の精神に基づき、平和を願う市民意識の醸成に努めます。

| 事業名   | 人権教育の推進   | 担当課 | 学校教育課 |
|-------|---|-----|-------|
| 事業の概要 | 人権教育の充実を図り、人権尊重の理念を育み、生命と個人の尊厳を重んじる精神の育成に努めるもので、大和高田市人権教育研究会に事業を委託し、各種研修会の開催並びに各校での人権教育講演会等を実施している。   |     |       |
| 実績等   | 令和元年度事業費 29,505 千円<br>令和2年度 〃 18,094 千円<br>令和2年度大和高田市人権教育研究会活動状況<br>市人権教育研究会研修会（オンライン開催）<br>市人権教育研究会課題別研修会（3回開催・動画配信）<br>市人権教育研究会推進委員会（毎月1回開催）<br>市人権教育研究大会（動画配信）等                    |     |       |
| 点検・評価 | 感染症対策のため、例年どおりの開催ができなかった事業もあったが、オンラインや動画配信による実施で、各校からの取組みも報告されており、概ね期待どおりの成果であった。教育推進講師を配備し、人権教育の充実を図っている。時代の流れや社会の変化と共に生じた様々な人権課題について、教職員が一丸となって取り組むべき事柄であることを再認識し、事業を継続・充実させる必要がある。 |     |       |

基本施策

生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備

市民が心豊かで生きがいを持って、よりよい人生を過ごせるように、生涯にわたって自らの人生デザインがふくらむ生涯学習機会の充実を図ります。

また、地域に伝わる伝統行事や歴史財産を守り、継承するとともに、人々に感動・誇りや生きる喜びをもたらす活動を推進し、郷土愛にあふれる未来へのまちづくり・人づくりに取り組みます。さらに、市民が健康でいきいきと暮らせるよう、生涯スポーツの啓発、環境の整備に取り組みます。

| 事業名   | 教育委員会表彰事業  | 担当課        | 教育総務課        |
|-------|--|------------|--------------|
| 事業の概要 | 大和高田市教育委員会表彰規程に基づき、大和高田市の教育・文化・芸術・スポーツの各分野において、<br>・有益な研究、考案又は発明をし、教育に貢献したもの<br>・学校教育、社会教育又は社会体育の振興について、功績が顕著なもの<br>・市内の学校の児童、生徒で特に表彰することが適当と認められるもの<br>に対して、奈良県教育週間の事業の一環として、毎年11月にさざんかホールのレストランホールにおいて、賞状を授与し、その功績を顕彰する。 |            |              |
| 実績等   | 令和元年度事業費 96千円<br>令和2年度 〃 85千円  | 被表彰者数<br>〃 | 8名・1団体<br>6名 |
| 点検・評価 | 教育・文化・芸術・スポーツの各分野において、顕著な功績を残した個人・団体や他の者の模範となる者の永年の功績や経験を顕彰することにより、今後のさらなる活動の活性化を促し、本市学校教育、社会教育、社会体育の振興に貢献する事業であり、概ね期待どおりの成果であった。  |            |              |

| 事業名   | 社会教育関係団体育成事業  | 担当課 | 生涯学習課 |
|-------|---|-----|-------|
| 事業の概要 | 婦人会、PTA等の社会教育団体の活動を通し、会員相互間の親睦を深め、地域の文化、教育の向上と地域における活動のリーダーとなる人材の育成を図る。<br>社会教育団体<br>地域婦人会連絡協議会<br>各校区婦人会より構成され、会の発展とともに、女性の教養と地位向上を図る。<br>PTA協議会<br>市内公立学校・幼稚園・こども園の各PTAにより構成され、PTA相互の連携を密にし、PTA活動の発展と学校教育の振興に努める。<br>美術協会<br>日本画、洋画、書芸、写真、陶芸、彫塑の6部門で構成、本市美術活動の推進に努める。 |     |       |

|     |   |
|-----|---|
| 実績等 | 令和元年度補助金 703 千円 会員総数 487 人<br>令和2年度補助金 265 千円 " 437 人<br>令和2年度の主な事業<br>地域婦人会連絡協議会・・・月1回の会議、総会（書面開催）<br>PTA協議会・・・・・・月1回の会議、総会（書面開催）、<br>研究大会（Youtubeにて配信）<br>「折り鶴アート」を市内公立学校・高校・<br>幼稚園・こども園を巡回して展示 等<br>美術協会・・・・・・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、<br>各展覧会は中止 |
|     | 点検・評価<br>新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、書面による総会の開催等、活動に制限はあったが、地域文化の向上に大きな役割を果たしており、概ね期待どおりの成果であった。今後もより一層の充実を望む。  |

| 事業名      | 葛城コミュニティセンター管理運営事業  | 担当課        | 生涯学習課 |      |       |         |          |      |         |        |       |           |        |         |            |
|----------|---|------------|-------|------|-------|---------|----------|------|---------|--------|-------|-----------|--------|---------|------------|
| 事業の概要    | 地域住民の文化の向上と福祉の増進を図るため、住民相互の連帯感を育成し、ふれあい豊かな場として活用するため、適正な施設の維持管理に努める。  |            |       |      |       |         |          |      |         |        |       |           |        |         |            |
| 実績等      | 令和元年度事業費 10,751 千円<br>令和2年度 " 24,451 千円<br>令和2年度主な実績 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>開館日数</td> <td>234 日</td> <td>(266 日)</td> </tr> <tr> <td>教室延べ実施回数</td> <td>69 回</td> <td>(174 回)</td> </tr> <tr> <td>延べ受講者数</td> <td>599 人</td> <td>(1,827 人)</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>6,934 人</td> <td>(24,157 人)</td> </tr> </table> ( ) は R 元年度<br>令和2年度開催の教室・講座 (実施回数、延べ受講者数)<br>小倉百人一首かるた 6 回 40 人 実用書道 12 回 182 人<br>ジュニア将棋 6 回 16 人 おりがみ教室 6 回 95 人<br>楽しいクラフト教室 5 回 26 人 おとなのピアノ教室 10 回 101 人<br>デコ・アメリカンフラワー 6 回 12 人 パソコン教室 10 回 77 人<br>ハンドメイド ZAKKA 6 回 31 人 等 |            |       | 開館日数 | 234 日 | (266 日) | 教室延べ実施回数 | 69 回 | (174 回) | 延べ受講者数 | 599 人 | (1,827 人) | 延べ利用者数 | 6,934 人 | (24,157 人) |
| 開館日数     | 234 日   | (266 日)    |       |      |       |         |          |      |         |        |       |           |        |         |            |
| 教室延べ実施回数 | 69 回  | (174 回)    |       |      |       |         |          |      |         |        |       |           |        |         |            |
| 延べ受講者数   | 599 人   | (1,827 人)  |       |      |       |         |          |      |         |        |       |           |        |         |            |
| 延べ利用者数   | 6,934 人   | (24,157 人) |       |      |       |         |          |      |         |        |       |           |        |         |            |



|       |   |
|-------|---|
| 点検・評価 | 新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の影響で、活動を中止した期間があったが、利用制限を設けた上で講座を再開した。受講者数が減少している講座もあるが、継続する受講者もいることから、講座内容については利用者の満足を得ている。今後も市民の学習意欲を高め支えられるよう、内容を一層充実させていかなければならない。 |
|-------|---|

| 事業名   | 図書館運営事業   | 担当課 | 生涯学習課 |
|-------|---|-----|-------|
| 事業の概要 | 市民の誰もが利用できる「学びの場」として、「本との出会い、人との出会い」を大切にし、市民が「心の豊かさ、生きがい」を得、学習意欲を高められるよう情報の提供を行い、「暮らしの中にある、役立つ図書館」として有効に機能できるよう管理運営に努める。県内外他市町村公立図書館との相互貸出サービスやリクエストによる本の購入、本の予約制度、生後4ヶ月健診児へのブックスタートライブラリーの配布等の事業を積極的に展開する。また、インターネットによる蔵書の検索サービスを提供、ネット上で蔵書の有無、予約の状況等の照会が可能となっている。 |     |       |
| 実績等   | 令和元年度事業費 48,741 千円<br>令和2年度 " 50,687 千円<br>令和2年度 個人貸出者数 32,575 人 (53,389 人)<br>個人貸出冊数 136,462 冊 (175,461 冊)<br>( ) は R 元年度  |     |       |
| 点検・評価 | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、来館者数・貸出冊数に減少が見られたが、利用制限を設け、図書除菌機を設置した上で貸出を実施し、概ね期待どおりの成果が得られている。   |     |       |

| 事業名   | 中央公民館定期講座運営事業  | 担当課 | 生涯学習課 |
|-------|--|-----|-------|
| 事業の概要 | 大和高田市の生涯学習の拠点として、市民の趣味や教養を高める講座を開講し、市民一人一人が生きがいのある人生を実現できるよう、1年間を通し、講座活動を支援し、その成果を発表する機会として、例年は成果発表会を開催している。 |     |       |

|         |   |      |         |     |        |     |      |      |     |      |      |     |      |      |     |     |      |     |     |         |     |      |         |     |        |         |     |      |        |    |     |         |    |      |  |  |  |
|---------|---|------|---------|-----|--------|-----|------|------|-----|------|------|-----|------|------|-----|-----|------|-----|-----|---------|-----|------|---------|-----|--------|---------|-----|------|--------|----|-----|---------|----|------|--|--|--|
| 実績等     | <p>令和元年度事業費 4,783 千円<br/>         令和2年度 〃 2,663 千円</p> <p>令和2年度の主な実績<br/>         開館日数 234日 受講者数 3,955人<br/>         (令和元年度 開館日数 269日 受講者数 9,480人)</p> <p>令和2年度定期講座(年間開催回数、延べ受講者数)</p> <table border="0"> <tr> <td>陶芸教室</td><td>10回</td><td>50人</td> <td>書道教室</td><td>11回</td><td>187人</td> </tr> <tr> <td>写真教室</td><td>10回</td><td>150人</td> <td>華道教室</td><td>10回</td><td>110人</td> </tr> <tr> <td>創作教室</td><td>10回</td><td>50人</td> <td>着付教室</td><td>10回</td><td>60人</td> </tr> <tr> <td>若葉コース教室</td><td>25回</td><td>450人</td> <td>コースひまわり</td><td>25回</td><td>2,305人</td> </tr> <tr> <td>中央高齢者学級</td><td>10回</td><td>341人</td> <td>中央女性学級</td><td>7回</td><td>84人</td> </tr> <tr> <td>高田視聴覚講座</td><td>7回</td><td>168人</td> <td></td><td></td><td></td> </tr> </table> <p>令和2年度自主講座(54サークルが活動)<br/>         日本画、洋画、書道、陶芸、写真、創作、英会話、舞踊、大正琴、太極拳等の自主サークル</p> <p>※令和2年度の成果発表会は新型コロナウイルス感染症拡大により、開催していない。</p> | 陶芸教室 | 10回     | 50人 | 書道教室   | 11回 | 187人 | 写真教室 | 10回 | 150人 | 華道教室 | 10回 | 110人 | 創作教室 | 10回 | 50人 | 着付教室 | 10回 | 60人 | 若葉コース教室 | 25回 | 450人 | コースひまわり | 25回 | 2,305人 | 中央高齢者学級 | 10回 | 341人 | 中央女性学級 | 7回 | 84人 | 高田視聴覚講座 | 7回 | 168人 |  |  |  |
| 陶芸教室    | 10回   | 50人  | 書道教室    | 11回 | 187人   |     |      |      |     |      |      |     |      |      |     |     |      |     |     |         |     |      |         |     |        |         |     |      |        |    |     |         |    |      |  |  |  |
| 写真教室    | 10回   | 150人 | 華道教室    | 10回 | 110人   |     |      |      |     |      |      |     |      |      |     |     |      |     |     |         |     |      |         |     |        |         |     |      |        |    |     |         |    |      |  |  |  |
| 創作教室    | 10回   | 50人  | 着付教室    | 10回 | 60人    |     |      |      |     |      |      |     |      |      |     |     |      |     |     |         |     |      |         |     |        |         |     |      |        |    |     |         |    |      |  |  |  |
| 若葉コース教室 | 25回   | 450人 | コースひまわり | 25回 | 2,305人 |     |      |      |     |      |      |     |      |      |     |     |      |     |     |         |     |      |         |     |        |         |     |      |        |    |     |         |    |      |  |  |  |
| 中央高齢者学級 | 10回   | 341人 | 中央女性学級  | 7回  | 84人    |     |      |      |     |      |      |     |      |      |     |     |      |     |     |         |     |      |         |     |        |         |     |      |        |    |     |         |    |      |  |  |  |
| 高田視聴覚講座 | 7回  | 168人 |         |     |        |     |      |      |     |      |      |     |      |      |     |     |      |     |     |         |     |      |         |     |        |         |     |      |        |    |     |         |    |      |  |  |  |
| 点検・評価   | <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年度当初の募集は延期されたが、生涯学習の拠点として、市民の多様なニーズにも応え、積極的な生涯学習機会の提供に努めており、概ね期待どおりの成果であった。公民館主催の定期講座を終えたOBによる自主サークル活動も活発であり、市民の学習意欲の高さが感じられる。高齢者の生きがいつくり、生涯教育の推進という観点から、今後も充実した学習機会を提供していかなければならない。</p>  |      |         |     |        |     |      |      |     |      |      |     |      |      |     |     |      |     |     |         |     |      |         |     |        |         |     |      |        |    |     |         |    |      |  |  |  |

| 事業名   | 中央公民館管理運営事業  | 担当課 | 生涯学習課 |
|-------|--|-----|-------|
| 事業の概要 | <p>本市の生涯学習の拠点として、各種定期講座や自主講座、その他の諸行事を円滑に開催することが出来るよう、定期点検や修理修繕等施設の適正な維持管理に努め、生涯学習の推進を図る。</p> <p>(施設の概要)</p> <p>1F/ 事務室・生涯学習課事務室・視聴覚室・美術陶芸室・調理実習室<br/>         2F/ 第1・2講座室・第3講座室・第4講座室・和室①・和室②・創作室<br/>         3F/ 大ホール・控室</p> |     |       |

|            |  |          |       |         |            |      |       |         |      |       |       |       |         |      |         |
|------------|--|----------|-------|---------|------------|------|-------|---------|------|-------|-------|-------|---------|------|---------|
| 実績等        | 令和元年度事業費 12,380 千円 開館日数 269 日 利用者数 55,566 人<br>令和2年度 " 12,419 千円 " 234 日 " 23,667 人  |          |       |         |            |      |       |         |      |       |       |       |         |      |         |
|            | 令和2年度施設の主な利用状況<br><table border="0"> <tr> <td>教育委員会関係</td> <td>127 件</td> <td>1,842 人</td> </tr> <tr> <td>教育委員会以外の行政</td> <td>15 件</td> <td>220 人</td> </tr> <tr> <td>地域運営組織等</td> <td>36 件</td> <td>689 人</td> </tr> <tr> <td>定期講座等</td> <td>135 件</td> <td>3,955 人</td> </tr> <tr> <td>自主講座</td> <td>1,351 件</td> <td>16,961 人</td> </tr> </table> | 教育委員会関係  | 127 件 | 1,842 人 | 教育委員会以外の行政 | 15 件 | 220 人 | 地域運営組織等 | 36 件 | 689 人 | 定期講座等 | 135 件 | 3,955 人 | 自主講座 | 1,351 件 |
| 教育委員会関係    | 127 件  | 1,842 人  |       |         |            |      |       |         |      |       |       |       |         |      |         |
| 教育委員会以外の行政 | 15 件   | 220 人    |       |         |            |      |       |         |      |       |       |       |         |      |         |
| 地域運営組織等    | 36 件   | 689 人    |       |         |            |      |       |         |      |       |       |       |         |      |         |
| 定期講座等      | 135 件  | 3,955 人  |       |         |            |      |       |         |      |       |       |       |         |      |         |
| 自主講座       | 1,351 件  | 16,961 人 |       |         |            |      |       |         |      |       |       |       |         |      |         |
| 点検・評価      | 年間利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少したが、各定期講座・教室、自主サークルやその他の諸行事の開催に有効に利用されている。本市生涯学習の拠点として重要な役割を果たしており、概ね期待どおりの成果であった。施設の老朽化により修繕箇所が増えているため、安全面に配慮しつつ、高齢化する利用者への利便性を図るためにも、更なる施設整備が課題である。  |          |       |         |            |      |       |         |      |       |       |       |         |      |         |

| 事業名   | 総合体育館管理運営事業  | 担当課 | スポーツ振興課 |
|-------|--|-----|---------|
| 事業の概要 | 施設の定期点検や修理修繕等を通し、施設の適正な管理運営に努め、市民に安全で安心な環境を提供するとともに、市民の利便性の向上に努め、生涯スポーツ、競技スポーツの拠点として、市民の活発な利用を推進する。<br>(施設の概要) 収容人員 1,200 名 (観客席)<br>施設内容 主競技場、サブ競技場、相撲場、保遊室、トレーニング室、健康相談室 |     |         |
| 実績等   | 令和元年度事業費 12,534 千円 開館日数 272 日 利用者数 42,210 人<br>令和2年度 " 12,949 千円 " 250 日 " 33,236 人  |     |         |
| 点検・評価 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開館日数および利用者数は減少したが、市民の体力向上と健康増進のための体育施設として、子どもから高齢者まで有効に利用されており、概ね期待どおりの成果であった。施設の老朽化が進んでいるため、建て替えも含めた計画的な対応が必要である。                                     |     |         |

| 事業名   | 武道館管理運営事業  | 担当課 | スポーツ振興課 |
|-------|--|-----|---------|
| 事業の概要 | 施設の定期点検や修理修繕を通し、武道系スポーツ施設を市民に安心、安全な状況での提供に努めることにより、武道人口の拡大と市民の健康増進の推進に努める。<br>(施設の概要) 施設内容 第1道場、第2道場、会議室、控え室 |     |         |
| 実績等   | 令和元年度事業費 2,805千円 延べ利用者数 11,985人<br>令和2年度 〃 2,738千円 〃 8,052人  |     |         |
| 点検・評価 | 新型コロナウイルス感染症拡大により、利用者の減少が見られたが、武道専用施設として、各武道系スポーツの教室開催に利用されており、武道の普及、推進に大きく貢献している。概ね期待どおりの成果であった。            |     |         |

| 事業名   | 文化会館管理運営事業（貸館事業）   | 担当課 | 文化振興課 |
|-------|--|-----|-------|
| 事業の概要 | 本市の芸術文化発信の中心として、適正な管理運営に努め、市民の芸術文化の創造、文化会館周辺商業地域の地域活性化の拠点となるよう、自主事業、貸館事業等様々な事業を推進する。<br>(施設の概要) 大ホール 1,040席 小ホール 238席<br>リハーサル室 50人 展示ホール 495㎡<br>レセプションホール 302㎡、会議室 26人、和室 18帖  |     |       |
| 実績等   | 令和元年度事業費 117,057千円<br>令和2年度 〃 112,775千円<br><br>令和元年度 年間利用者数 94,559人 大ホール稼働率 43%<br>令和2年度 〃 29,719人 〃 22%   |     |       |
| 点検・評価 | 施設の管理運営、維持については業務委託を継続し、効率化が図られている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、貸館事業の中止・延期が多数発生した。建築後24年が経過し、設備の老朽化が見られるため、今後も補修や修繕費の増大が予想される。コストを切り詰める工夫と、新型コロナウイルスの感染状況に注視し、利用者の安全を最優先に取り組む必要がある。 |     |       |

| 事業名   | 文化会館運営事業（自主事業）   | 担当課 | 文化振興課 |
|-------|--|-----|-------|
| 事業の概要 | 市民の芸術文化の創造と振興を図り、優れた芸術、文化に触れる機会を市民に提供し、文化意識の高揚を図る。あらゆる世代に対応した、優れた公演を開催する。友の会会報をはじめ、市広報誌やホームページ、新聞広告の掲載により、集客を図る。 |     |       |
| 実績等   | 令和元年度事業費 12,576 千円<br>令和2年度 〃 8,532 千円<br>自主事業回数<br>令和元年度 13回 総入場者数 6,170人<br>令和2年度 5回 〃 910人                    |     |       |
| 点検・評価 | 新型コロナウイルス感染症拡大により、催し物の中止・延期が多数発生した。今後は、不足の事態を想定することも必要であり、チケット購入者にも迅速で分かりやすい情報の提供が必要となる。                         |     |       |

| 事業名   | 文化財保護事業  | 担当課 | 生涯学習課 |
|-------|--|-----|-------|
| 事業の概要 | 埋蔵文化財包蔵地の範囲を周知し、埋蔵文化財包蔵地における開発行為に対して、現場立会いのうえ、試掘調査の要否について判断している。その結果、重要な遺物・遺構の出土が見られた場合は本調査を行い、記録の作成、出土品の整理等の適正な処理を施し、埋蔵文化財の保存に努め、埋蔵文化財の破壊・散逸を未然に防止する。 |     |       |
| 実績等   | 令和元年度事業費 5,255 千円<br>令和2年度 〃 7,356 千円<br>令和元年度 発掘届出件数 29件<br>令和2年度 〃 36件   |     |       |
| 点検・評価 | 令和2年度は、自己用住宅の建築に伴う埋蔵文化財発掘調査（コンピラ山古墳）を実施した。調査で得られた成果や出土品は、保管するだけでなく、市内外への周知及び公開に努め、市民の歴史への理解と文化財保護意識の高揚に向けて情報発信に努めたい。                                   |     |       |

| 事業名   | 大和高田歴史文化セミナーの開催   | 担当課 | 文化振興課 |
|-------|---|-----|-------|
| 事業の概要 | 郷土愛を育み、郷土の歴史を多くの市民に知っていただくため、大和高田にこだわった歴史テーマを中心にセミナーを開催し、新たな歴史の発掘と郷土の歴史を広く啓発していく。   |     |       |
| 実績等   | 令和元年度事業費 90千円      開催回数 3回      受講者数 304名<br>令和2年度    〃      89千円      〃      2回      〃      188名<br>令和2年度歴史文化セミナー<br>第1回 令和3年1月11日<br>『臨書』とは何か、またその『意義』について（飛鳥・白鳳・天平の文化財を学ぶ）<br>第2回 令和3年2月21日<br>『葛城の賀茂氏と山背の賀茂氏』—上賀茂神社と下賀茂神社の創祀— |     |       |
| 点検・評価 | 大和高田の歴史に触れるという本来の趣旨に沿う内容で実施。例年3回のセミナーを開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、2回の開催となった。感染症対策のため、入場制限を行ったが、1講座当たりの参加者は例年並みであり、市民からの関心が高いことを示している。今後も感染症対策を行いつつ、工夫を凝らした事業を検討している。  |     |       |

|      |                   |
|------|-------------------|
| 基本目標 | 子どもたちの笑顔あふれるまちづくり |
|------|-------------------|

|      |         |
|------|---------|
| 基本施策 | 教育環境の充実 |
|------|---------|

未来を担う子どもたちが健やかに成長していくことができるよう、確かな学力、豊かな人間性やたくましい心身の育成など、知・徳・体のバランスのとれた教育の実現に取り組めます。

| 事業名   | 幼稚園備品整備事業  | 担当課 | 教育総務課 |
|-------|--|-----|-------|
| 事業の概要 | 園児の健全な成長を促し、教育の質の向上を図るため、備品の整備を進める。備品購入費の予算を確保し、各園の状況を考慮しつつ、優先順位の高いものから対応する。 |     |       |

|       |   |
|-------|---|
| 実績等   | 令和元年度事業費 3,305 千円<br>令和2年度 〃 2,041 千円<br>令和2年度主な整備備品<br>(園用備品)<br>園児用椅子、積木、園児用机、パーティション 他                                   |
| 点検・評価 | 限られた予算の中、備品について精査し、有効な備品の整備に努めている。各園の状況に合わせた教育用物品の他、感染症対策の物品を購入し、概ね期待どおりの成果となった。全体的に遊具等の老朽化が見られるため、各園の要望に合わせて段階的に改善する必要がある。 |

| 事業名   | 幼稚園施設整備事業   | 担当課 | 教育総務課 |
|-------|---|-----|-------|
| 事業の概要 | 園児の安全で健やかな成長を促進するため、園施設・設備の維持管理に努めるとともに、営繕担当の会計年度任用職員を配置し、自前修理の可能な修理・修繕にも迅速に対応する。                         |     |       |
| 実績等   | 令和元年度事業費 14,626 千円<br>令和2年度 〃 7,402 千円<br>令2年度の主な整備<br>浮孔西幼稚園 開放廊下床改修工事<br>浮孔幼稚園 管理棟改修工事<br>市内各幼稚園 防犯設備工事 |     |       |
| 点検・評価 | 計画的に施設整備を行うことができた。施設設備の保全については、可能な限り2名の営繕担当職員による修理等を行うことにより、予算の節約に努めている。限られた予算の中で修繕を執行し、概ね期待通りの成果であった。    |     |       |

| 事業名   | 幼児教育の充実  | 担当課 | 学校教育課 |
|-------|--|-----|-------|
| 事業の概要 | 様々な体験や遊びを通じて健康な体力づくりの基礎を培い、情緒的・知的な発達や社会性を育み、心豊かにたくましい子どもを育成する。また、様々な事業を通し、保護者の子育て支援の充実を図る。 |     |       |

|       |   |
|-------|---|
| 実績等   | 令和元年度 事業費 7,213 千円<br>令和2年度 〃 12,011 千円<br>令和2年度事業<br>わくわく子育て事業<br>※小・中学校、保育所との交流事業は、感染症拡大予防のため中止   |
| 点検・評価 | 市民のニーズが高い3歳児保育を全園で実施したことにより、園児数は若干増加傾向にある。事業は、概ね期待どおりの成果であったが、保育料の無償化に伴い、私立幼稚園や保育所に入園希望する傾向が見られるため、長期休暇中の預かり保育を拡充する等、保育内容を充実させ、園児数の増加に繋げる事業を展開している。 |

| 事業名   | 小・中学校備品整備事業  | 担当課 | 教育総務課 |
|-------|--|-----|-------|
| 事業の概要 | 子どもたちが意欲を持ち、積極的に学習に取り組み、学力の向上と健全な育成を促すことができるよう、備品等の整備を進める。校用備品、教材用備品、理科教育設備用備品、特別支援教育用備品の各々について、学校からの要望を聴取、教育総務課で予算化、一括入札を実施、購入を行い、教育環境の整備に努める。  |     |       |
| 実績等   | 令和元年度事業費 13,874 千円 児童・生徒数 3,914 人<br>令和2年度 〃 32,058 千円 〃 3,801 人<br>令和2年度の主な整備備品<br>(校用備品)<br>小学校：紙折り機、テント、椅子、机 等<br>中学校：椅子、机、戸棚、会議用テーブル 等<br>(教材用備品)<br>小学校：ワイヤレスアンプ、電子キーボード 等<br>中学校：電動ミシン、作品乾燥棚、バリトンサクソフォン 等<br>(理科教育設備用備品)<br>小学校：プログラミングロボット、人体骨格模型、電子てんびん、昆虫模型、顕微鏡 等<br>中学校：顕微鏡、衝突実験器、光学台 等<br>(特別支援学級用備品)<br>小学校：テーブル、デジタルキーボード、平均台 等<br>中学校：プロジェクター、プリンタ、ホワイトボード 等<br>(感染症対策用備品)<br>小学校：空気清浄機、滅菌器、洗濯機 等<br>中学校：パーティション、滅菌器、加湿空気清浄機 等 |     |       |



|       |  |
|-------|--|
| 点検・評価 | 小中学校よりの要望・必要性を精査し、有効な備品の整備に努め、効率的な執行をしており、感染症対策備品については補助金を活用して購入し、概ね期待どおりの成果であった。今後も計画的に進めるとともに、管理状況等を把握し、適正管理に努める必要がある。 |
|-------|--|

| 事業名   | 小・中学校施設整備事業  | 担当課 | 教育総務課 |
|-------|--|-----|-------|
| 事業の概要 | 児童・生徒の安全で健やかな成長を促進するため、学校施設・設備の維持管理に努める。また、営繕担当の会計年度任用職員を配置し、自前修理の可能な修理修繕に迅速に対応する。   |     |       |
| 実績等   | 令和元年度事業費 1,254,205 千円<br>令和2年度 " 69,867 千円<br>令和2年度の主な整備<br>浮孔小学校非常放送設備改修工事、土庫小学校屋上防水改修工事、磐園小学校2階普通教室改修工事、高田小学校空調設備設置工事、浮孔西小学校橋改修工事、片塩中学校南館特別教室木製建具備修工事<br>他 |     |       |
| 点検・評価 | 毎年限られた予算の中で、計画的に予算執行している。施設の軽微な不具合については、可能な限り専属の営繕担当職員による修繕を行っているが、老朽化が進む施設も多く、改善すべき課題は残存している。   |     |       |

| 事業名   | 教育ICT環境整備事業   | 担当課 | 教育総務課 |
|-------|---|-----|-------|
| 事業の概要 | 確かな学力をより効果的に育成するため、言語活動の充実やグループ学習、文科省の掲げるGIGAスクール構想を含むICT（情報通信技術）の積極的な活用をはじめとする指導方法・指導体制の工夫改善を通じ、協働型・双方向型の授業革新を推進する。  |     |       |
| 実績等   | 令和元年度事業費 70,009 千円<br>令和2年度事業費 416,333 千円<br>令和2年度の主な整備<br>平成27年度に整備した環境の契約満了による機器の入れ替え<br>統合型校務支援システムの導入<br>GIGAスクール構想における1人1台端末の整備<br>情報機器トラブル対応、情報資産管理運用、情報セキュリティ関連事業、ICT支援員、業務管理、事業サポート 等 |     |       |

|       |   |
|-------|---|
| 点検・評価 | I C T環境の機器・ソフトウェア・ネットワークの運用管理を中心に行った。統合型校務支援システムの導入による業務改善やトラブル対応により、教育現場が円滑に稼働するよう整備した。G I G Aスクール構想における児童・生徒用端末の整備を行ったことにより、授業でI C Tを活用できる環境を構築することができ、コロナ禍においても効果を発揮すると思われる。 |
|-------|---|

| 事業名   | コロナウイルス感染症対策事業（トイレ洋式化及び網戸購入）  | 担当課 | 教育総務課 |
|-------|---|-----|-------|
| 事業の概要 | 新型コロナウイルス感染症対策のため、補助金を活用して学校及び幼稚園のトイレ環境その他の整備を行う。   |     |       |
| 実績等   | 令和2年度事業費 53,876千円<br>学校施設トイレ洋式化改修工事（小学校・中学校・幼稚園・高等学校）<br>網戸購入（片塩小学校・高田小学校・土庫小学校・浮孔小学校・磐園小学校・菅原小学校・高田西中学校） |     |       |
| 点検・評価 | 感染症対策事業として、ウイルスの飛散防止になることから、トイレの洋式化を計画的に行った。また、室内の換気のため、窓の開放が必要なことから、網戸の設置を行ったことは感染症対策として大きな効果が期待できる。     |     |       |

| 事業名   | 学校施設耐震化事業   | 担当課 | 教育総務課 |
|-------|---|-----|-------|
| 事業の概要 | 学校施設は、子どもたちが1日の大半を過ごす場所であり、災害時には地域住民の避難場所となる重要な施設であるため、学校施設の耐震化を図る。   |     |       |
| 実績等   | 令和元年度事業費 76,351千円 耐震化率 100%<br>令和2年度 " 154,316千円 " 100%<br>片塩小学校舎2棟解体及び備蓄倉庫、外部便所倉庫新設工事 等                            |     |       |
| 点検・評価 | 片塩小学校の閉鎖している校舎の解体及び備蓄倉庫、外部便所倉庫新築工事を行い、浮孔小学校の閉鎖している校舎については、解体工事に向け、実施設計を行った。解体の対象外の建物については、様々な課題があり、今後の対応を検討する必要がある。 |     |       |

| 事業名   | 学校給食業務   | 担当課 | 教育総務課 |
|-------|--|-----|-------|
| 事業の概要 | <p>栄養バランスの取れたおいしい給食を提供することにより、栄養健康管理を推進し、食に関する生きた教材として、食事のあり方等について学ぶことを目的に、幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒に給食を提供する。</p>   |     |       |
| 実績等   | <p>令和元年度事業費 231,445 千円 年間給食総食数 721,260 食<br/>         令和2年度 〃 240,024 千円 〃 723,859 食<br/>         月～金曜日 週5回の給食を提供<br/>         幼稚園（6園）・小学校（8校）・中学校（3校）で学校給食を実施<br/>         主食(月・水・金曜日は米飯、火・木曜日はパン)と副食、牛乳の完全給食を提供<br/>         ※令和2年4月・5月は、新型コロナウイルス感染症予防対策による臨時休業のため、給食を停止。</p> |     |       |
| 点検・評価 | <p>食育として栄養バランスや正しい食の知識を持ってもらえるよう、献立や食材に工夫をした。また、安心して給食が食べられるよう、感染症対策を行った。</p>  |     |       |

| 事業名   | 特別支援教育   | 担当課 | 学校教育課 |
|-------|--|-----|-------|
| 事業の概要 | <p>就学指導委員会において、特別に支援を要する園児・児童・生徒の教育相談を実施し、適正な就学を確保する。学校では、特別支援学級において子どもたちの個々のニーズに合った教育を実施している。幼稚園に加配講師、小学校・中学校に支援員等の人員配置をし、支援の充実を図る。</p>                                   |     |       |
| 実績等   | <p>令和元年度事業費 47,043 千円<br/>         令和2年度 〃 42,054 千円<br/>         令和2年度実施の主な事業<br/>         特別支援教育担当者対象の研修会開催<br/>         特別支援校内委員会において、特別支援コーディネーターを中心に校内での職員研修会実施 等</p> |     |       |

|       |  |
|-------|--|
| 点検・評価 | <p>就学前の教育相談等により、園児・児童・生徒への教育支援や人員配置・施設ともに整備し、適正な就学を確保することが出来ており、概ね期待どおりの成果であった。また、学校の特別支援学級においても、適切な指導や支援を行っている。しかし、近年「障がい」の重複化及び重度化や園児・児童・生徒・保護者の教育的ニーズへの対応、対象園児・児童・生徒の増加に伴い、本市の目指す特別支援教育を明確にし、より効果の上がる指導体制の充実を図る必要がある。</p> |
|-------|--|

| 事業名   | 外国人講師派遣事業  | 担当課 | 学校教育課 |
|-------|--|-----|-------|
| 事業の概要 | <p>外国人講師による生きた外国語や外国の文化・生活習慣等に触れる機会を設けることで園児・児童・生徒の外国への興味を深め、コミュニケーション能力の向上を図る。市内各幼稚園・小学校・中学校・高等学校に外国人講師を派遣。</p>   |     |       |
| 実績等   | <p>令和元年度事業費 19,915 千円<br/>           令和2年度 " 20,097 千円<br/>           令和2年度の実績（小・中学校については、児童・生徒数による）<br/>           幼稚園 1園当たり 7～8日<br/>           小学校 1校当たり 22～63日程度<br/>           中学校 1校当たり 54～87日程度<br/>           高等学校 97日</p> |     |       |
| 点検・評価 | <p>プロポーザル方式による業者選定を導入することにより、安定して信頼出来る外国人講師を派遣することが出来ている。事業開始当初に比べ、派遣講師を増員しており、概ね期待どおりの成果を上げているが、内容や質、委託業者の変更による影響については、継続的にチェックをする必要がある。</p>  |     |       |

| 事業名   | 資格取得の推進   | 担当課 | 学校教育課<br>(商業高校) |
|-------|---|-----|-----------------|
| 事業の概要 | <p>将来を担う有為な人材の育成に努め、各々の分野における生徒の能力、適正、意欲を伸ばす等、教育の多様化にも柔軟に対応し、実社会に向け確かな勤労観、職業観を持った即戦力となる人材を育成する。また、大学入試等進学にも有利に活かせるよう、日商簿記検定、全商簿記検定、全商コンピュータ検定、全商商業経済検定、全商ワープロ検定、全商珠算検定、全商電卓検定、全商英語検定の8種類の資格検定について、1級合格者数のアップ等、資格取得の合格率を上げるよう努める。</p>  |     |                 |
| 実績等   | <p>令和元年度 生徒数 596名 各種検定1級延べ合格者 825名<br/> 令和2年度 " 595名 " 826名</p> <p>令和2年度各種資格取得の状況</p> <p>日商簿記検定：2級合格者 33名(31)<br/> 全商簿記検定：1級合格者 187名(184)<br/> 全商情報処理検定：1級合格者 172名(165)<br/> 全商商業経済検定：1級合格者 191名(185)<br/> 全商ビジネス文書実務検定(ワープロ検定)：1級合格者 49名(46)<br/> 全商珠算・電卓検定：1級合格者 207名(210)<br/> 全商英語検定：1級合格者 20名(33)<br/> 全商検定1級3科目以上合格者 192名(186) 他</p> <p>令和2年度進路の状況</p> <p>4年生大学 54%(55) 短期大学 7%(4) 専門学校 14%(14)<br/> 就職 25%(27) ( )は令和元年度</p> |     |                 |
| 点検・評価 | <p>生徒たちの努力と学校の取り組みにより、前年度に引き続き期待以上の成果が上がった。時代の流れに合わせ、グローバル社会に対応できる人材育成に向け、英語教育の充実と、英語検定の取得率向上にも努める。また、資格取得に向けた地道な努力を認める体制づくりにも力を入れる必要がある。</p>   |     |                 |

| 事業名   | 部活動の推進  | 担当課 | 学校教育課<br>(商業高校) |
|-------|---|-----|-----------------|
| 事業の概要 | <p>生徒には、必ずいずれかの部に所属するように指導をしており、部活動を通じ、身体的、精神的に強い意志を持ち、規則正しく、礼儀正しい人間を育成することを目的とし、運動部、文化部の活動を支援し、指導の強化に努める。</p> <p>運動部・・・野球、ソフトテニス、サッカー、卓球、バスケットボール、弓道、バレーボール、ソフトボール、陸上、バドミントン</p> <p>文化部・・・吹奏楽、簿記、ワープロ、書道、茶道、華道、情報処理、美術、英語、珠算、家庭、アパレル、ボランティア</p>  |     |                 |
| 実績等   | <p>令和元年度生徒数 596名<br/>令和2年度生徒数 595名</p> <p>令和2年度各競技の主な成績</p> <p>ソフトテニス部・・・第10回リブ・ミスソフトテニス研修大会 女子団体 優勝<br/>近畿高等学校ソフトテニス選抜インドア大会<br/>男子団体 優勝<br/>奈良県高校総合体育大会 男子団体 優勝<br/>男子個人 優勝<br/>女子個人 優勝 等</p> <p>バドミントン部・・・全国高校選抜バドミントン選手権大会県予選<br/>女子団体 3位<br/>奈良県高校総合体育大会 女子団体 準優勝</p> <p>弓道部・・・奈良県高校総合体育大会 男子個人 優勝 等</p> <p>バレーボール部(女子)・・・奈良県高校バレーボール新人大会 準優勝 等</p> <p>珠算・電卓部・・・高校簿記・電卓対抗戦 関西中央本大会 電卓の部<br/>団体 優勝 等</p> <p>ワープロ部・・・近畿地区高校ワープロ競技大会 県予選<br/>団体・個人 優勝 等</p> <p>英語部・・・奈良県高校英語スピーチコンテスト 暗唱の部 3位<br/>全国大会出場延べ人数 20人(令和元年度125人) 等</p> |     |                 |
| 点検・評価 | <p>運動部、文化部ともに毎年全国規模の大会に出場できるレベルであり、多くの部活動でハイレベルの活躍が見られ、概ね期待どおりの成果であった。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全国大会の相次ぐ中止や感染対策の制限がある中、バレーボール部が県新人大会で創立以来初の準優勝を果たした。部活動を通じた身体的、精神的に強い人間形成の成果が進学、就職にも有効に表れており、今後も更なる活躍を期待する。また、自らを向上させようとする地道な努力を評価する体制づくりにも力を入れるとともに、成長するための基礎づくりとしての部活動の役割を再認識したい。</p>  |     |                 |

| 事業名   | 人権教育の推進   | 担当課 | 学校教育課<br>(商業高校) |
|-------|---|-----|-----------------|
| 事業の概要 | 人間尊厳の精神に徹し、差別を正しく認識し、差別をなくす意欲と実践力を培う力を養成する。人権教育講演会の開催や月1回「なかまだより」を発行することで生徒の人権意識を高める。   |     |                 |
| 実績等   | 令和2年度事業の実績<br>「なかまだより」発行(年3回)、いじめアンケート(年3回)、DVD鑑賞(年1回)、人権作文(年1回)等<br>※新型コロナウイルス感染症拡大により、講演会は中止。   |     |                 |
| 点検・評価 | 学校教育目標に定めるところの自主的、自立的で責任を重んじ、人権を尊重する実践力を育てることが出来た。進学先、就職先からも卒業生に高い評価を得ており、概ね期待どおりの成果であった。カウンセリングルームにてスクールカウンセラーによる相談を月2回実施し、生徒が相談しやすい環境づくりに努めている。 |     |                 |

| 事業名             | 適応指導教室(かたらい教室)  | 担当課        | 教育支援課 |          |          |  |  |         |          |  |  |                 |  |            |  |   |      |            |  |
|-----------------|---|------------|-------|----------|----------|--|--|---------|----------|--|--|-----------------|--|------------|--|---|------|------------|--|
| 事業の概要           | 心理的、情緒的な要因により不登校となった児童・生徒に対し、学校への復帰を支援するため、平成6年4月4日に開設。当初は不登校児童等への心理的支援を主な事業としていたが、平成15年度より学習支援を目的とする事業が新たに加わった。心理相談員や指導員を配置し、生徒達の実態を把握、集団生活への適応指導、適応指導に関する調査研究を通し、学校復帰及び心理的問題の解決を図るとともに、学校へ臨床心理士、指導員を派遣している。また、いじめ等への教育アドバイザーによる電話相談等の教育支援を行っている。  |            |       |          |          |  |  |         |          |  |  |                 |  |            |  |   |      |            |  |
| 実績等             | <table border="0"> <tr> <td>令和元年度事業費</td> <td>23,275千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和2年度 "</td> <td>22,617千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和2年度適応指導教室開所日数</td> <td></td> <td>243日(235日)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>"</td> <td>在籍者数</td> <td>127名(113名)</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">( )はR元年度</p> |            |       | 令和元年度事業費 | 23,275千円 |  |  | 令和2年度 " | 22,617千円 |  |  | 令和2年度適応指導教室開所日数 |  | 243日(235日) |  | " | 在籍者数 | 127名(113名) |  |
| 令和元年度事業費        | 23,275千円  |            |       |          |          |  |  |         |          |  |  |                 |  |            |  |   |      |            |  |
| 令和2年度 "         | 22,617千円  |            |       |          |          |  |  |         |          |  |  |                 |  |            |  |   |      |            |  |
| 令和2年度適応指導教室開所日数 |   | 243日(235日) |       |          |          |  |  |         |          |  |  |                 |  |            |  |   |      |            |  |
| "               | 在籍者数  | 127名(113名) |       |          |          |  |  |         |          |  |  |                 |  |            |  |   |      |            |  |
| 点検・評価           | 不登校児童・生徒への心理的な支援だけでなく、教育的な支援も効果を発揮し、概ね期待どおりの成果であった。子どもを取り巻く問題に対して、よりきめ細やかに、また早期に対応するためにも指導員の増員及び質の向上、内容の精査が必要である。   |            |       |          |          |  |  |         |          |  |  |                 |  |            |  |   |      |            |  |

| 事業名   | 青少年補導員活動事業  | 担当課 | 教育支援課 |
|-------|---|-----|-------|
| 事業の概要 | 青少年の問題行動を未然に防止するため、巡視活動を行うとともに、各種の事故防止活動の推進を図り、青少年の健全な育成、指導にあたる。  |     |       |
| 実績等   | 令和元年度事業費 526 千円<br>令和2年度 〃 154 千円<br>令和2元年度 行事・研修会回数 20 回<br>延べ参加人数 285 人<br>※新型コロナウイルス感染症拡大により、外出自粛が要請されたため、巡視活動の制約あり。         |     |       |
| 点検・評価 | 新型コロナウイルス感染症拡大に係る緊急事態措置等により、事業の縮小を余儀なくされたが、休校期間もあったことから、子ども達がストレスを抱えることも増え、事業の重要性は高まっていると言える。事業を継続して実施することは、市内での少年犯罪の減少に貢献している。 |     |       |

| 事業名   | 青少年指導員活動事業  | 担当課 | 教育支援課 |
|-------|---|-----|-------|
| 事業の概要 | 市内に在住の幼児・児童・生徒を対象とし、野外活動やハイキング、レクリエーション活動等の事業を実施し、文化や自然にふれあうことにより、次代を担う青少年の健全育成を推進する。また、研修会を開催し、指導員の資質の向上を図ることにより、事業の有効的な推進を図る。 |     |       |
| 実績等   | 令和元年度事業費 226 千円 延べ参加人数 369 人<br>令和2年度 〃 105 千円 〃 60 人   |     |       |
| 点検・評価 | 新型コロナウイルス感染症拡大により、事業の大幅な縮小を余儀なくされたが、青少年指導員の能力維持のための会議は継続して行った。今後は、感染症防止策に沿った行事の立案と、アフターコロナを見据えた事業計画が課題である。                      |     |       |



基本施策

子育て支援体制の充実

すべての子どもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長し、「子どもの最善の利益」が実現されるよう、多様化する価値観、ニーズに応じた子育て支援サービス（保育サービス、子育て家庭に対するサービスなど）を充実させ、安心して子育てができる環境づくりを推進します。

| 事業名   | 留守家庭児童ホーム運営事業  | 担当課 | 学校教育課 |
|-------|--|-----|-------|
| 事業の概要 | 就労等の事情で、昼間、保護者が家庭にいないことのできない児童に対し、自由な学習や読書、運動の出来る環境を提供することで、児童の健全育成を図るとともに、留守家庭児童の安全確保と、保護者の就労支援を目的として、各小学校に留守家庭児童ホームを設置し、指導員を配置する。  |     |       |
| 実績等   | 令和元年度事業費 85,975 千円 施設数 13 施設 児童数 592 人<br>令和2年度 " 108,474 千円 " 13 施設 " 598 人<br>開所時間 平日：放課後～午後 6:00 まで<br>土曜日・長期休業中：午前 8:30～午後 6:00  |     |       |
| 点検・評価 | 学齢期にある児童の人口は年々減少しているが、保護者の就労等の事情により、昼間、家庭にいないことのできない世帯が増加しているため、入所希望児童は年々増加し、指導員を増員するなど、出来る限り入所希望児童を受け入れている。また、令和3年度からの民間委託に向け、業者選定を行った。委託することにより、開所時間の延長が可能となるが、それに伴う問題点等、様々なケースを想定し、事業を進める必要がある。 |     |       |

| 事業名   | 就学援助事業および特別支援教育就学奨励事業  | 担当課 | 学校教育課 |
|-------|--|-----|-------|
| 事業の概要 | 経済的に困窮する世帯の子ども等すべての子どもに等しく学校教育が受けられるよう支援を行う。また、特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費を負担する。    |     |       |
| 実績等   | 令和元年度事業費 43,127 千円 援助児童・生徒数 687 人<br>令和2年度 " 34,745 千円 " 704 人                                     |     |       |
| 点検・評価 | 新型コロナウイルス感染症の拡大による休校措置に伴う昼食支援金を就学援助費受給認定者に支給し、感染症による経済的な影響が及ばないよう対策を講じた。引き続き、状況に応じた細やかな対応が必要と思われる。 |     |       |

|      |                   |
|------|-------------------|
| 基本目標 | 健康でいきいきと暮らせるまちづくり |
|------|-------------------|

|      |         |
|------|---------|
| 基本施策 | 地域福祉の推進 |
|------|---------|

地域福祉推進の主体である地域住民などの参加を得て、地域生活課題を明らかにするとともに、その解決のために必要となる施策の内容などについて、庁内関係部局はもとより、多様な関係機関や、専門職も含めて協議の上、すでにある他の計画を踏まえた「大和高田市地域福祉計画」を策定し、地域福祉の推進に向けた取組を進めます。

| 事業名   | 若者の居場所づくり事業   | 担当課 | 教育支援課 |
|-------|---|-----|-------|
| 事業の概要 | 若者の地域社会への帰属意識及び自己肯定感の向上を図るため、若者の居場所を提供することにより、地域社会からの孤立の防止を目的とする。対象は、市内在住の40歳未満で、義務教育を終了した後、中途退学や早期離職等により社会的孤立のおそれがある者としており、社会福祉課の事務の補助執行という形で実施している。 |     |       |
| 実績等   | 令和2年度事業費 529千円<br>ヒサかた・ヒサ会実施回数 47回（参加者数 321人）   |     |       |
| 点検・評価 | 令和2年度より開始した事業だが、概ね期待通りの成果を上げている。感染症拡大により、事業の縮小は余儀なくされたが、継続性は維持できている。今後は、専門的知識を有する人材の確保及び市長部局や関係機関も一体となったプラットフォーム作りが課題となる。                             |     |       |